

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-289879

(43)Date of publication of application : 26.10.1999

(51)Int.CI.

A01G 9/10

(21)Application number : 10-112788

(71)Applicant : FUJIMI GREEN ENGINEERING KK

(22)Date of filing : 08.04.1998

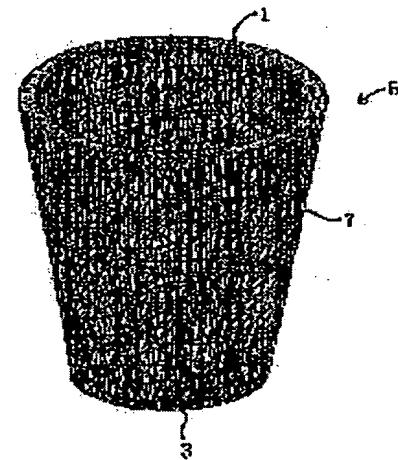
(72)Inventor : YAMAMOTO MASANOBU  
AKIYAMA KEIJIRO

## (54) PLANT POST-PLANTING CARE POT

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To plant a plant together with a container and a filler in the container in a proper land or a planting mat or the like without pulling out the plant when the plant properly grows in the container.

SOLUTION: This plant post-planting care pot comprises a container opening the top 1 and equipped with the bottom 3 molded from coconut fibers 7.



BEST AVAILABLE COPY

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 03.12.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 18.01.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-289879

(43)公開日 平成11年(1999)10月26日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
A 01 G 9/10

識別記号  
ZAB

F I  
A 01 G 9/10

ZABC

審査請求 有 請求項の数2 FD (全5頁)

(21)出願番号 特願平10-112788

(22)出願日 平成10年(1998)4月8日

(71)出願人 592015422  
富士見グリーンエンジニアリング株式会社  
静岡県静岡市富士見台1丁目19番72号

(72)発明者 山本 正信  
静岡県静岡市富士見台1丁目19番72号 富  
士見グリーンエンジニアリング株式会社内

(72)発明者 秋山 恵二朗  
静岡県静岡市富士見台1丁目19番72号 富  
士見グリーンエンジニアリング株式会社内

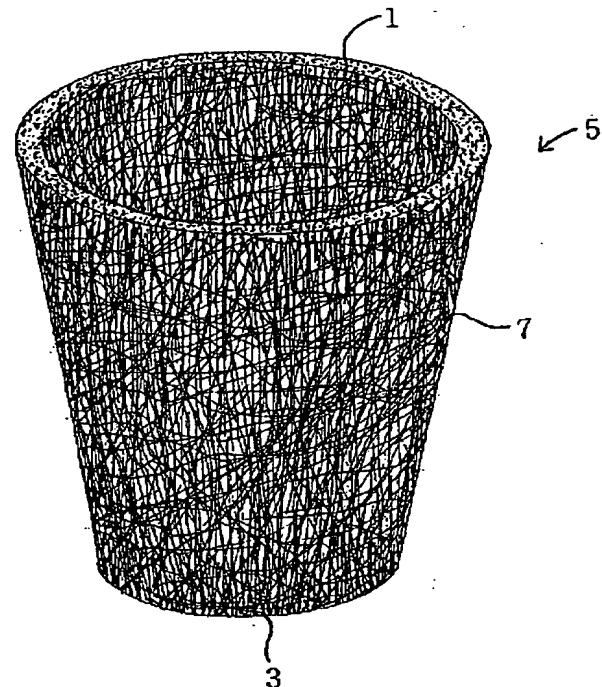
(74)代理人 弁理士 長野 光宏

(54)【発明の名称】 植物養生ポット

(57)【要約】

【課題】 植物が容器内で適度に成長したときに、該植物を容器から抜き取ることなく、即ち該植物を容器及び該容器内の充填物と共に、適宜の地面又は植え付け用マット等に植え付けることができるようとする。

【解決手段】 上部(1)を開口し且つ底部(3)を備えた容器(5)をヤシの纖維(7)により成型してなることを特徴とする植物養生ポット。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部を開口し且つ底部を備えた容器をヤシの纖維により成型してなることを特徴とする植物養生ポット。

【請求項2】 上部を開口し且つ底部を備えた容器をヤシの纖維と該ヤシの纖維の粘結剤としての天然ゴムとにより成型してなることを特徴とする植物養生ポット。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は植物養生ポットに関するものであり、特に、植物を地面等に植え付けるまでの間、該植物を養生させると共に、養生後、該植物をポットに入れたままの状態で地面等に植え付けることができるようとした植物養生ポットに係るものである。本発明の植物養生ポットは、種々の陸生植物の他、例えばヨシ、フトイ、ガマ、ショウブ等の水生植物の養生にも用いられる。また、該植物は草本たると木本たるとを問わない。

## 【0002】

【従来の技術】 植物養生ポットとしては、柔軟な黒色プラスチックフィルム製の容器が従来より一般に使用されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記従来のプラスチックフィルム製の容器においては、下記の如き問題がある。

【0004】 (イ) 上記従来のプラスチックフィルム製の容器は、植物を地面に植え付けるまでの間、該植物を養生させておくものであり、植物を地面に植え付ける際には、該植物を土等の充填物と共に該容器から抜き取つて地面に植えるのである。即ち、プラスチックフィルム製の容器は植物を地面に植え付けるまでの期間において仮に使用されるものであつて、該容器から植物を抜き取つた後は該容器は廃棄されることになる。然るに、該容器はプラスチックフィルム製であるため、処理に困るのが現状である。即ち、プラスチックフィルム製の容器を焼却し、埋立て、或いは放置すれば環境が汚染されるという深刻な問題が生ずるのである。

【0005】 (ロ) 植物をプラスチックフィルム製の容器から抜き取る際、或いは該植物を地面に植え付ける際に該植物の根等を損傷するおそれがある。また、プラスチックフィルム製の容器の底部に形成された排水孔から植物の根が外部に突出しているような場合には、植物を該容器から抜き取ることは困難である。更に、容器から抜き取った植物を地面に植え付ける作業は必ずしも容易ではない。

【0006】 (ハ) 従来の容器を形成しているプラスチックフィルムは保水性を有しないため、植物の成育上好ましくない。

【0007】 本発明は上記従来のプラスチックフィルム

製の容器における上述の如き問題を解決しようとしてなされたものである。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために、本発明は下記の植物養生ポットを提供するものである。

【0009】 (1) 上部を開口し且つ底部を備えた容器をヤシの纖維により成型してなることを特徴とする植物養生ポット(請求項1)。

【0010】 (2) 上部を開口し且つ底部を備えた容器をヤシの纖維と該ヤシの纖維の粘結剤としての天然ゴムとにより成型してなることを特徴とする植物養生ポット(請求項2)。

## 【0011】

【作用】 【請求項1の植物養生ポット】 請求項1の植物養生ポットを使用する際には、ヤシの纖維により成型された容器内に土、ヤシの纖維、ヤシの纖維の粉状体等の充填物を充填した上で、植物の種を播き或いは苗を植えて植物を該容器内で成育させる。該容器はヤシの纖維よりなるものであるため、好ましい排水性と保水性とを備えている。

【0012】 植物が容器内で適度に成長したときには、該植物を容器から抜き取ることなく、即ち該植物を容器及び該容器内の充填物と共に、適宜の地面又は植え付け用マット等に植え付けるのである。このように植物を容器に入れたまま地面等に植え付ける作業は極めて容易であり、植物の根等を損傷するおそれは全くない。

【0013】 植物の根は、地面等に対する植え付けの前後において、ヤシの纖維よりなる容器と一体化し、地面等に対する植え付け後においては容器を貫通して地中に至る。地中の水は該容器内にも染み込む。該容器は植物であるヤシの纖維よりなるものであるため、該容器はやがて地中の微生物により分解され、土となる。

【0014】 【請求項2の植物養生ポット】 請求項2において用いられる天然ゴムはヤシの纖維の粘結剤となるものであり、液状の天然ゴムによりヤシの纖維を粘結させて成型する。天然ゴムもやがて地中で分解される。その他の点においては、請求項2の植物養生ポットは請求項1の植物養生ポットと同様の作用を有する。

## 【0015】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施の形態を添付図面に従つて説明する。本発明の植物養生ポットは上部1を開口し且つ底部3を備えた容器5をヤシの纖維7により成型してなるものである。ヤシの纖維7はヤシの実から得られる。ヤシの纖維7は好ましくは液状の天然ゴムによりヤシの纖維を粘結させて成型する。容器5を成型する際には、適宜の金型等の型を用いて加熱成型する。容器5は上部1を開口し且つ底部3を備えたものであればいかなる形状に成型してもよい。容器5はヤシの纖維7よりなるものであり、排水性を備えているため、

排水孔を設ける必要はない。符号11に示すものは容器5内に充填した土、ヤシの纖維、ヤシの纖維の粉状体等の充填物である。符号13に示すものは容器5内の植物、符号15は該植物13の根である。図3は地面等に植え付ける前の容器5と植物13を示し、図4は地面に植え付けた後の容器5と植物13を示す。図4においては、植物13の根15はヤシの纖維7よりなる容器5を貫通し、地中に達している。

## 【0016】

【発明の効果】 【請求項1の植物養生ポット】請求項1の植物養生ポットは下記の如き優れた効果を発揮する。

【0017】 (a) 植物が容器内で適度に成長したときには、該植物を容器から抜き取ることなく、即ち該植物を容器及び該容器内の充填物と共に、適宜の地面等に植え付けることができる。

【0018】 (b) このように植物を容器に入れたまま地面等に植え付ける作業は極めて容易であり、植物の根等を損傷するおそれは全くない。

【0019】 (c) 容器はヤシの纖維よりなるものであるため、植物の成育上好ましい排水性と保水性とを備えている。

【0020】 (d) 植物の根は、地面等に対する植え付けの前後において、ヤシの纖維よりなる容器と一体化し、地面等に対する植え付け後においては容器を貫通して地中に至る。

【0021】 (e) 地面等に対する植え付け後においては地中の水は該容器内にも染み込む。

【0022】 (f) 容器は植物であるヤシの纖維よりなるものであるため、該容器はやがて地中の微生物により分解され、土となる。従って、容器が環境を汚染するおそれは全くない。

【0023】 【請求項2の植物養生ポット】請求項2においては、天然ゴムをヤシの纖維の粘結剤として使用しているため、ヤシの纖維は容易に成型される。天然ゴムもやがて地中で分解されるため、環境を汚染することはない。その他の点においては、請求項2の植物養生ポットは請求項1の植物養生ポットと同様の効果を発揮する。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による植物養生ポットの一例を示す斜視図である。

【図2】同上植物養生ポットの断面図である。

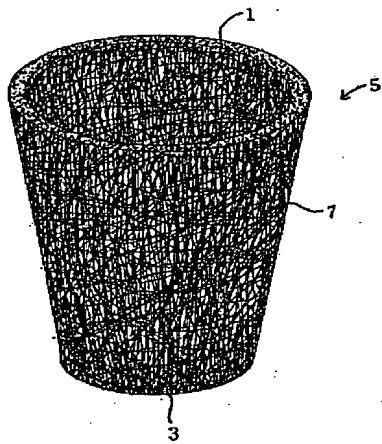
【図3】同上植物養生ポットと該植物養生ポット内で成長する植物とを示す断面図である。

【図4】同上植物を植物養生ポットと共に地面に植え付けた状態を示す断面図である。

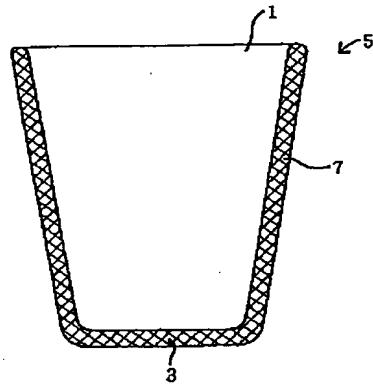
## 【符号の説明】

- 1 上部
- 3 底部
- 5 容器
- 7 ヤシの纖維
- 11 充填物
- 13 植物
- 15 根

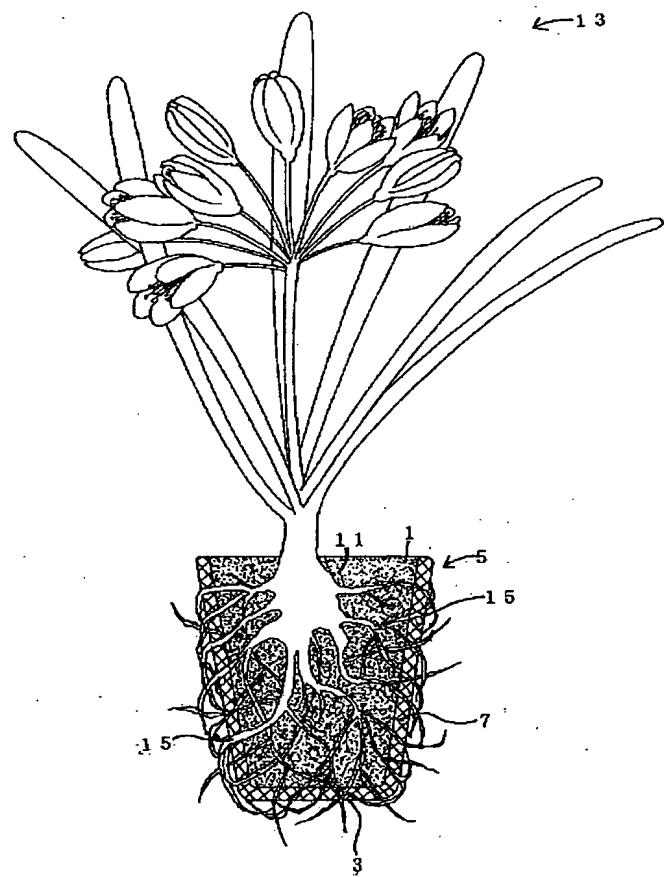
【図1】



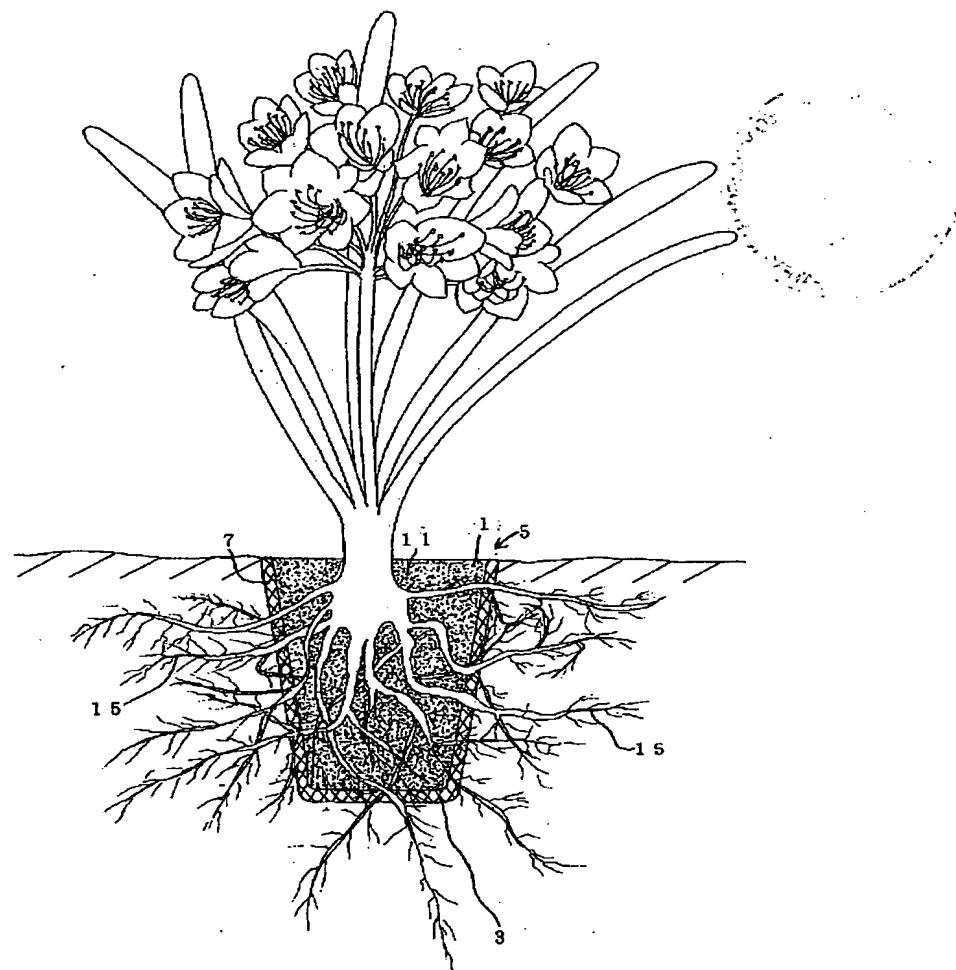
【図2】



【図3】



【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**